

A lush green garden scene with a large tree and hydrangeas under a cloudy sky. The text is overlaid on the left side of the image.

日本気象予報士会 東京支部 例会 前座 2026年7月12日

登録番号609 安藤淳（東京支部）
日本経済新聞・編集委員

※資料は個人の参考用にとどめ、
拡散はおやめ下さい

Media is Hope

年間個人賞について

VALUE

私たちが提供する価値

メディア支援

気候変動報道やコンテンツが
増えるための支援

メディア連携

テレビ/新聞/雑誌/オンライン
メディア/各メディア間の連携

あらゆるステークホルダーが共創関係を築く架け橋

気候変動の本質的な解決を目指して、
メディアや市民、企業や専門家/実践者などを繋ぐ



**Media
is
Hope**

多様な賞の1つ

<Media is Hope AWARD 2025 受賞者>

【2025年 下半期】

個人賞：WoWキツネザル氏

媒体賞：NHK報道局

【2025年 年間】

個人賞：日本経済新聞社 安藤淳氏

媒体賞：毎日新聞社 / テレビ東京

ソーシャルメディア賞：黒部睦氏

作品賞：「青の王国 BlueNation年代記」（作者：しおだまりん氏）

データビジュアライズ賞：「温暖化する地球を見下ろす 気候変動の15の陰影」（中日新聞社）

シリーズ賞：「いま、地球がアツい！」（ニッポン放送） / 「気候危機にメディアはどう向き合うべきか」（NHK放送文化研究所）

地域メディア賞：福岡放送

ソリューション賞：読売新聞社



Media is Hope AWARD 2025 年間【表彰理由】

<2025 年間 個人賞：日本経済新聞社 安藤淳氏>

気象予報士の資格を持つ編集委員として気候変動問題への意識の向上や、対策推進を促す記事を執筆されています。「[世界でも突出、予想を超えた日本の暑さ](#)」では猛暑と気候変動の関連性を読み解き、「[猛暑や豪雨が鳴らす警鐘、温暖化の影響に意識向けよ](#)」では温暖化の「対症療法」の限界を指摘。自身の連載「[ウェザープラス](#)」でも天気と気候変動の関係を度々解説。新聞に限らず、映像メディアでの解説にも出演。「[COP30開幕、崖っぷちの『1.5度目標』救えるか](#)」では「希望を捨てるのはまだ早い」と展望も示す。記者としての長年の経験と気象の専門性を掛け合わせた発信は現実の厳しさを伝えながらも希望を手放さず、多くの読者に行動の必要性を呼びかけている。

最近の記事

エルニーニョ発生でも日本は猛暑？「冷夏」の通説に反する予想

編集委員 安藤淳

[Nikkei Views](#)

2026年5月3日 5:00[会員限定記事]

ラニーニャからエルニーニョへの移行期に、地球が太陽から受け取るエネルギーが一気に増えて気温が上がるメカニズムを北海道大学のグループとともに解明した東京大学の小坂優准教授は、今年の場合は状況が異なると見る。今春、終了した「ラニーニャに近い状態」は20～23年のラニーニャほど長くて明確な現象とは違うためだ。

それでも、もともとエルニーニョには全球の平均気温を押し上げる効果がある。長期的な地球の温暖化により、ベースとなる気温が「ゲタをはいた状態」でもある。小坂准教授は「26年は過去最高に匹敵する高温になる可能性があり、27年は記録更新も考えられる」とみる。

最近の記事

脱炭素、倍速で取り組め「COPの顔」サイモン・スティル氏の決意 直言

2026年6月6日 5:00[会員限定記事]



ウェザープラス（隔週金曜日・電子版11:00 夕刊）

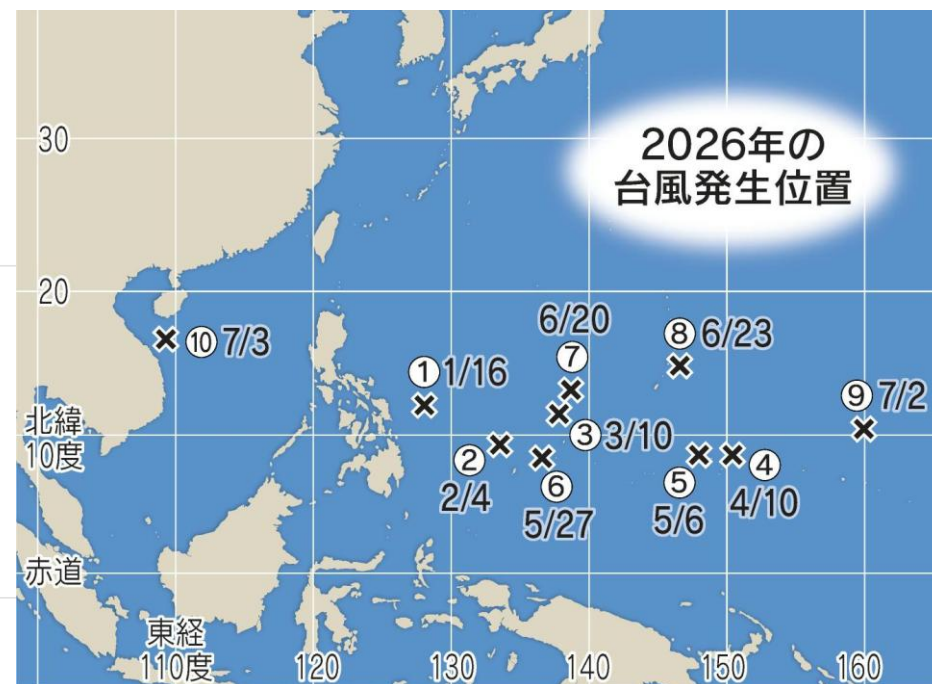
台風9号の影響で太平洋高気圧強まる、蒸し暑い夏空に

編集委員・気象予報士 安藤淳

ウェザープラス

2026年7月10日 11:00[会員限定記事]

■**ウェザープラス** 日本の南を進む非常に強い台風9号が太平洋高気圧を引っ張り出す働きをしたため、今週末にかけ北日本を除いて夏空が広がりそうだ。梅雨明けに近い状態と言える。カラリとした晴れではなく蒸し暑いため、熱中症に警戒が必要だ。



(注) 熱帯低気圧から台風になった位置と日付、円内は号数。
台風4号以降は速報値。気象庁資料から作成



7月以降の天候に
注目！

ご清聴ありがとうございました